

【 調 査 の 概 要 】

1 調査の目的

鳥取県は、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆様とともに様々な地方創生の取組を進めています。

これからも、県民の皆様が住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう現在の状況や今後の要望など、率直なご意見をお伺いするため調査を行ったものです。

2 調査の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1)調査対象 | 鳥取県内在住の 18 歳以上 75 歳未満の者 3,000 名 |
| (2)抽出方法 | 住民基本台帳に基づく無作為抽出法 |
| (3)調査時期 | 令和8年6月 |
| (4)調査方法 | (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して、回答は郵送またはインターネットにより受付した。なお、調査票の提出は無記名とした。 |
| (5)有効回答数 | 1,523 名 |
| (6)回収率 | 50.8% (1,523／3,000)
・郵送回答:802 (52.7%)・インターネット回答:721 (47.3%) |
| (7)回答者の属性 | 性別:男性 612 人(40.2%)、女性 855 人(56.1%)
その他・回答したくない 37 人(2.4%)、無回答 19 人(1.2%)
年齢:18～19 歳(2.7%)、20～29 歳(10.7%)、30～39 歳(10.2%)、
40～49 歳(17.6%)、50～59 歳(18.9%)、60～69 歳(23.8%)、
70 歳以上(15.3%)、無回答(0.8%) |

3 資料のみかた

(1) 比率(%:パーセント)の表示について

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象数)に対する百分率(%)を表している。複数回答を求める設問では、百分率の合計は 100%を超える。

また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表示した。このため、百分率の合計が 100%とならず、端数が生じたものがある。

(2)「無回答」の取り扱いについて

以下については「無回答」として扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・指定回答数以上を回答している場合 例)単数回答の設問に複数回答を行っている場合など

(3)クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18～19 歳」標本の取り扱いについて

- ・クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18～19 歳」は標本数が少ないため、他の性別又は年代と比較・分析する場合は除外することとした。
- ・クロス集計グラフについて、「性別:その他×年代:18～19 歳」区分の回答者は無かったため項目の記載はしていない。

4 回収状況と信頼区間

(1) 必要標本数について

今回の調査においては、18 歳以上 75 歳未満の鳥取県推計人口 339,655 人(令和7年 10 月 1 日時点)から無作為に 3,000 人を抽出し、調査の依頼を行った。そのうち有効回答数は 1,523 人であり、回収率は 50.8%であった。

まず、標本数の設定については、次の式によって与えられる。

$$A = \frac{N}{\left[\frac{\varepsilon}{X(\alpha)} \right]^2 \cdot \frac{N-1}{\sigma^2} + 1}$$

A = 必要標本数

α = 推定を誤る確率

$X(\alpha)$ = 正規分布の性質から与えられる値(1.96)

N = 母集団の大きさ(満 18 歳以上 75 歳未満の県民)

σ^2 = 母分散

ε = 精度

本調査では、信頼度を 95%として計算を行った。この場合、 $X(\alpha)$ は、1.96 であり、母集団の大きさは 339,655 人。精度を仮に 3%、母比率を 50%とし、それぞれ代入して計算すると、以下のとおりとなる。

$$A = \frac{339,655}{\left[\frac{3}{1.96} \right]^2 \cdot \frac{339,655}{50 \times 50} + 1} = 1063.77$$

よって、今回の調査において必要な最小標本数は 1,063 人であり、有効回答 1,523 人はこの条件を満たしているといえる。

(2) 標本誤差について

有効回答票の標本誤差を次の式によって計算した。

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{N-n}{N-1} \right] \cdot \frac{Q(1-Q)}{n}}$$

B = 標本誤差

N = 母集団の大きさ(満 18 歳以上 75 歳未満の県民)

n = 回答者総数(1,523 人)

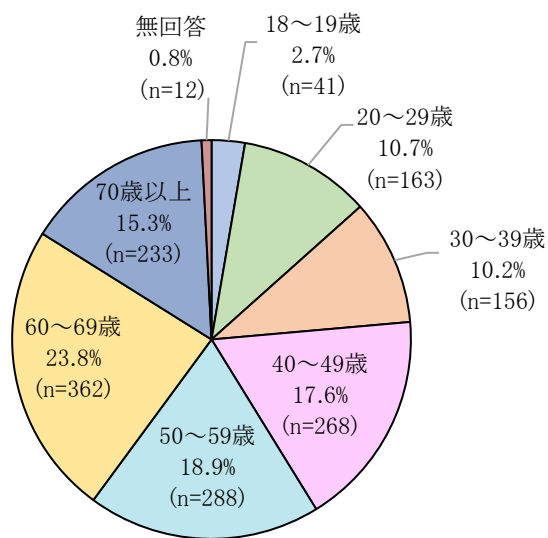
Q = 母比率(0.5 とする)

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{338,132}{339,654} \right] \cdot \frac{0.5(1-0.5)}{1,523}} = \pm 2.50$$

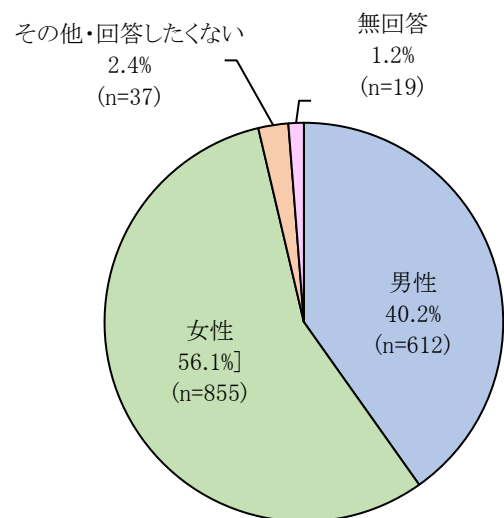
すなわち、標本誤差は $\pm 2.50\%$ しかないといえる。

5 回答者の情報

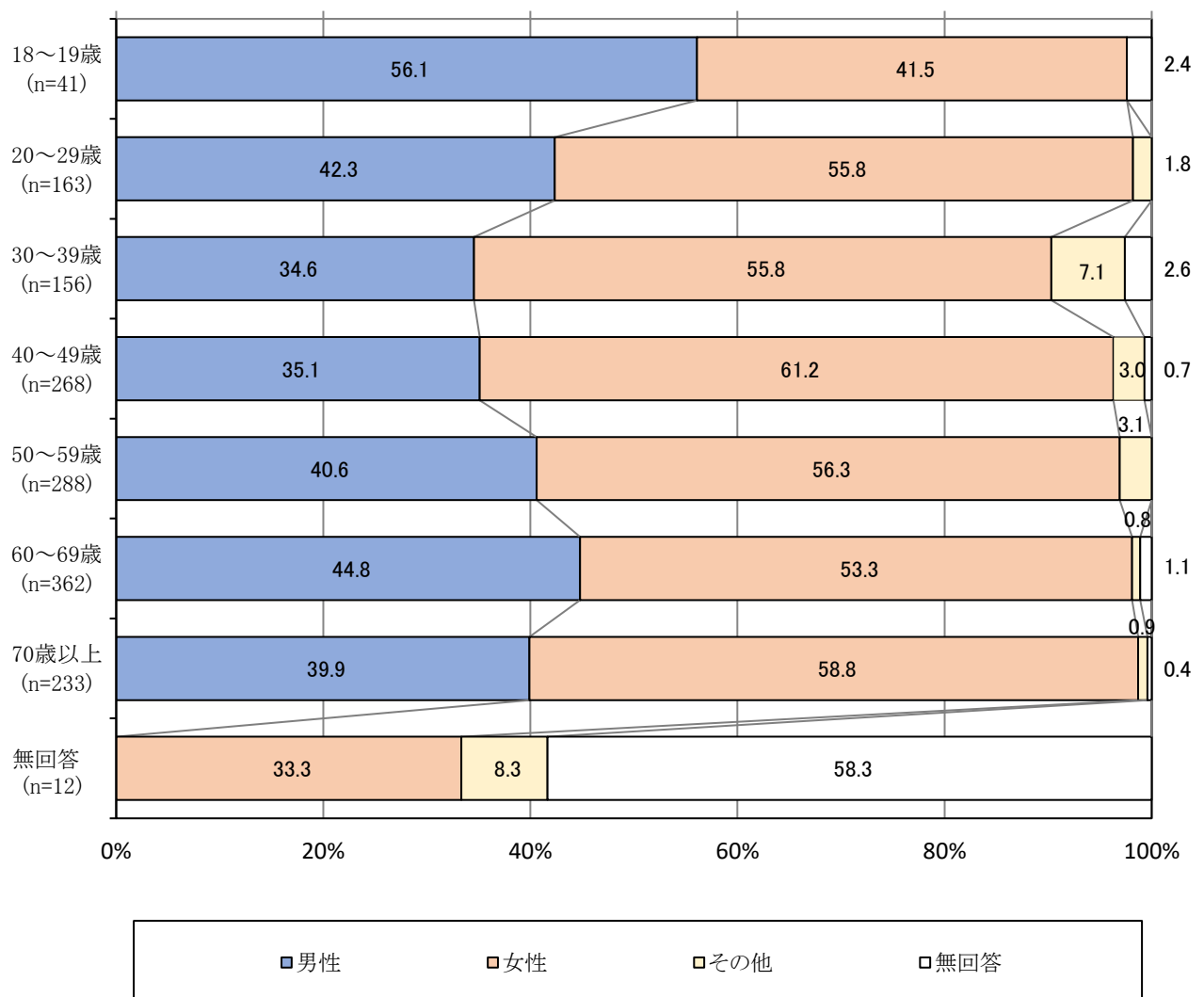
(1)年代



(2)性別



(3)性別 × 年代



＜市町村別調査対象者数＞

区 分		人 口			抽 出 数		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
東 部 地 区	鳥取市	59,876	59,454	119,330	529	525	1,054
	岩美町	3,261	3,184	6,445	29	28	57
	若桜町	724	691	1,415	6	6	12
	智頭町	1,773	1,753	3,526	16	15	31
	八頭町	4,626	4,701	9,327	41	42	83
	(小計)	70,260	69,783	140,043	621	616	1,237
中 部 地 区	倉吉市	13,358	14,134	27,492	118	125	243
	三朝町	1,736	1,659	3,395	15	15	30
	湯梨浜町	4,856	5,010	9,866	43	44	87
	琴浦町	4,597	4,689	9,286	41	41	82
	北栄町	4,197	4,300	8,497	37	38	75
	(小計)	28,744	29,792	58,536	254	263	517
西 部 地 区	米子市	45,382	47,302	92,684	401	418	819
	境港市	10,215	10,196	20,411	90	90	180
	日吉津村	1,117	1,177	2,294	10	10	20
	大山町	4,360	4,281	8,641	39	38	77
	南部町	3,071	3,062	6,133	27	27	54
	伯耆町	3,046	3,067	6,113	27	27	54
	日南町	1,125	906	2,031	10	8	18
	日野町	729	670	1,399	6	6	12
	江府町	681	689	1,370	6	6	12
	(小計)	69,726	71,350	141,076	616	630	1,246
合 計		168,730	170,925	339,655	1,491	1,509	3,000

※人口は鳥取県統計課「鳥取県の推計人口」より、令和7年10月1日時点の18歳以上75歳未満の推計人口を用いた。

<回答者の情報>

【性別】

区 分	件 数	割 合(%)
男性	612	40.2
女性	855	56.1
その他 ・回答した くない	37	2.4
無回答	19	1.2
計	1,523	100

【年代】

区 分	件 数	割 合(%)
18～19 歳	41	2.7
20～29 歳	163	10.7
30～39 歳	156	10.2
40～49 歳	268	17.6
50～59 歳	288	18.9
60～69 歳	362	23.8
70 歳以上	233	15.3
無回答	12	0.8
計	1,523	100

【職業】

区 分	件 数	割 合(%)
会社員 (公務員含む)	689	45.2
自営業 (家族従業者含む)	134	8.8
パート ・ アルバイト	247	16.2
学生	66	4.3
専業主婦 ・主夫	121	7.9
無職	240	15.8
無回答	26	1.7
計	1,523	100

【住まい】

区 分	件 数	割 合(%)
鳥取市	557	36.6
米子市	384	25.2
倉吉市	125	8.2
境港市	94	6.2
岩美町	22	1.4
若桜町	5	0.3
智頭町	17	1.1
八頭町	46	3.0
三朝町	17	1.1
湯梨浜町	41	2.7
琴浦町	40	2.6
北栄町	42	2.8
日吉津村	6	0.4
大山町	40	2.6
南部町	29	1.9
伯耆町	27	1.8
日南町	9	0.6
日野町	4	0.3
江府町	6	0.4
無回答	12	0.8
計	1,523	100